



「フィールド バランス」で 世界を制す

CORPORATE INFORMATION

シグマ電子工業株式会社

ものづくりを支える
釣合い試験機の
専門メーカー



- ・製品開発（機械設計、ソフト設計、電子・電気設計）
- ・営業技術



本社:〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田185-3
TEL0865-42-6055(代) FAX0865-42-6067

<http://www.sigma-elec.co.jp/>

シグマ電子工業

検索



SEEDS
就職アドバイザー
から「ひとこと」。

●この会社案内は、「人財と企業を結ぶ」株式会社シーズの編集です。実際に企業取材し、その特徴と魅力を学生の皆さんにお知らせしています。

製品の納入先はあらゆる業界に数百社、不況に負けない安定した経営。業界トップシェアの釣合い試験機を武器に産業界を支えるシグマ電子工業は、社員12名のチームワークで顧客の多種多様な要望に応え続

けています。もっと便利に、もっと新しいものをお客様のために。そんな熱意が伝わってくるようです。ものづくりには欠かせない縁の下の力持ちとして今後さらに発展を遂げることでしょ

業界トップシェア！
オンリーワンの技術で
あらゆる産業界に貢献



企業概要

企 業 名 シグマ電子工業株式会社
本社所在地 岡山県浅口市金光町占見新田185番地の3
設 立 年 昭和61年
創 業 年 昭和60年
代 表 者 代表取締役 平野 宗三郎
売 上 高 3億円
業 務 内 容 釣合い試験機及び産業用制御機器の製造販売
事 業 所 ●岡山本社
●神奈川営業所
●名古屋営業所

沿 革

1985年 6月 システム設計事務所を開設して創業を開始
1985年 9月 バランサ「BC4300」を開発してOEM供給を開始
1986年 3月 シグマ電子工業株式会社を設立
1987年 6月 占見新田工業団地へ本社を移転（現在の本社所在地）
1988年 5月 測定精度を大幅に改善したバランサ「SB-8300」を開発
1991年 9月 日本試験機工業会（動釣合い分科会）に入会
1992年10月 日本国際工作機械見本市に初出展
1997年11月 神奈川営業所を開設
2002年 2月 業界初の多速度・多面バランサ「SB-7700R」を開発
2004年 9月 岡山県知事から「岡山・わが社の技」に認定される
2005年 9月 本社の新社屋が落成
2006年 3月 精密工学会中四国支部から技術賞を受賞
2007年 9月 ISO9001 認証取得 認証登録番号: JQA-QMA13358
2009年 4月 経済産業省から「元気なモノ作り中小企業全国300社」に選出される
2011年 9月 機上同一段取りで、2面バランス修正を可能にした全自動機「SHVA2-6130A」を開発
2012年 7月 名古屋営業所を開設

企業情報、採用情報などホームページをご覧ください。
<http://www.sigma-elec.co.jp/>

シグマ電子工業

検索

パソコンのHDDや冷却用ファン、工作機械、ジェットエンジン、発電タービン等、あらゆるものに組み込まれている「回転体」。アンバランスなものを回転させると振動や騒音が発生し、効率の低下や機械の故障を招きます。「釣合い試験機」は回転体の振動を計測してアンバランスを抑制し調整する機械。シグマは独自の新技術を駆使して釣合い試験機を開発・

製造してきました。創業以来27年、これまで生産した釣合い試験機の累計台数は6,000台を超え、様々な企業や研究機関で採用されています。お客様それぞれのニーズに合わせて設計から組立、検査、納入まで、一貫して自社で行い、納入後のメンテナンスにも責任を持って対応。お客様が望まれるものを提供するため、常に新しい技術を求めてやまない企業です。

事業展開

- フィールドバランサの開発・製造・販売
- 立形釣合い試験機の開発・製造・販売
- 横形釣合い試験機の開発・製造・販売
- 全自動釣合い試験機の開発・製造・販売
- 総合試験機の開発



独自技術を有するマザーマシンの開発で産業界の未来を支えます。

事業の特徴
世界随一の試験機を製造
低速から超高速回転まで、すべての回転領域で高精度に計測できる釣合い試験機は、ものづくり現場などどこでも待ち望む夢の機械でした。シグマは「多速度・多面法」という新しい修正法をフィールドバランサに採用してこれを実現。世界随一の試験機を創り上げました。使っている技術は全て純国産。国内シェアは約65%を占め、平成21年には経済産業省の「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれるなど、高い評価を得ています。

会社の魅力
オンリーワンの技術が魅力
ものづくり現場の声を聴きながら「こんなものがあると便利では」と構想を練り、今までにない新しいものを創り出しているのが、シグマならではの楽しさ。中小企業ではあっても大手企業の下請けではありません。工作機械見本市など毎年開かれる展示会に照準を合わせ、何を創り、どんな価格設定にするか、全て自分たちで決められるのです。確固とした技術をもつオンリーワンの企業だからできる、自由で創造的な仕事です。

ここが未来
総合試験機メーカーへ飛躍
釣合い試験機は、あらゆる産業で必要不可欠なマザーマシン。高い性能を誇る当社の製品は引き合いも多く、納入先は数百社にのぼります。取引先の業界が幅広いため好不況の波を受けることはありません。製造業にとっては厳しい状況が続く昨今ですが、当社はゆるやかな右肩上がり続けており、18年連続で増収増益。これまで研究を続けてきた「振動」に関するノウハウを武器に、今後は総合試験機メーカーへと飛躍・発展していきます。

先輩の声
ものづくりの醍醐味が満載
いくつかの会社で機械設計の仕事を経験してきましたが、当社の環境が一番いいですよ。毎日図面を書いているだけの職場より、自分が設計したものが目の前で出来上がるのを見ることができて、お客様の声も聴くことができる職場のほうが、断然楽しい。その上、当社は業績がよくて経営が安定しています。ものづくりの好きな人には最高の職場ですね。



●開発課機械設計グループ 野口 誠

先輩の声
開発で役立てる喜びを実感
釣合い試験機、知らない人のほうが多いでしょう。私もそうでした。入社してから3カ月間はプログラムをひたすら読む毎日。なんとか理解できるようになり、もっと効率よくできる部分も見つけることができました。私の格闘を見守ってくれた先輩社員に感謝です。今後は客先に出向いて現場の声を聴きつつ、お客様の役に立つものを生み出していきます。



●開発課ソフト設計グループ 林 利隆

求める人財
好奇心・意欲をぶつけて！
文系・理系を問わず「ものづくり」が好きな人を求めています。自分で何かを創り出すことが好きなら、ソフトを開発したり配線をやってみたり、お客様の声を聴いてみたり、興味関心はどんどん広がっていくはず。釣合い試験機は振動を扱うので、振動工学を学んだ人や、これから学んでみたい人は大歓迎。好奇心旺盛でチャレンジ精神のある人、明るく前向きな人、「やってみたい」という意欲を当社で新技術の開発にぶつけてください。



●営業課課長 中藤 彰規